

沿岸定線観測速報 ちば (2023年4月)

千葉丸：4月9～14日

千葉県水産総合研究センター
千葉県農林水産技術会議
令和5年4月18日

黒潮は、野島埼南方～外房沖で大きく離岸した後、夷隅～銚子沖を北東へ流れていました（図2）。水温は、銚子・九十九里海域は平年より高め基調、外房海域は平年並でした（表1）。

【詳細】

各水深における平均水温は、銚子・九十九里海域は水深0,100mでやや高め、水深200mで高めでした。外房海域はいずれの水深も平年並でした（表1）。

水平方向には、水深10m, 100m, 200mで岸から沖への顕著な水温勾配（フロント）が見られました（図3）。鉛直分布を見ると、各ライン沖側の水深150m以浅は高温で一様になっており、その下方に水温躍層が見られました。また、2,3月に見られた低温低塩分（水温9.0℃以下、塩分34.1以下）は見られませんでした（図5,図6）。

黒潮は野島埼南方～外房で大きく離岸した後、向きを北東に変えて夷隅～銚子沖を流れていました（図2）。犬吠埼沖の黒潮縁辺付近では3ノットを超す速い流れが見られました。

クロロフィル濃度は、水深10mでは犬吠埼～九十九里沿岸、水深50mでは犬吠埼沿岸が周辺海域より高い値（3μg/L以上）になっていました（図7）。

キンメダイ漁場の水温は、勝浦沖の底層は前年並み、銚子沖の水深0～200mはいずれも前年より3℃ほど高めでした（図8）。

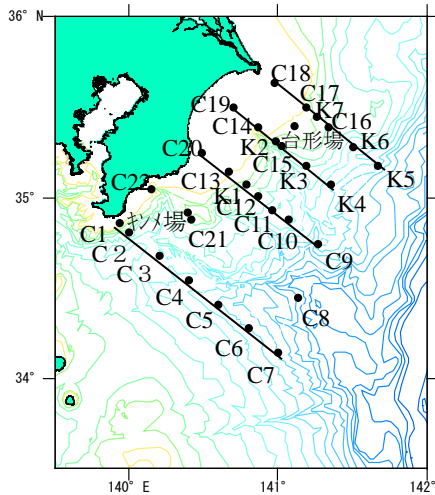


図1 調査点

線は北から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線

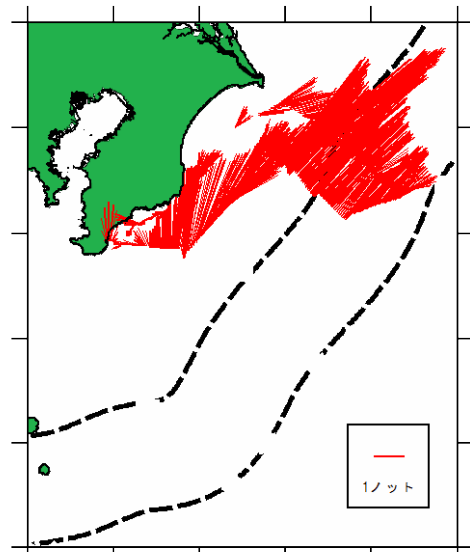


図2 黒潮流路（破線）と流況

表1 海域別平均水温（℃）と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	17.71 やや高め	16.84 平年並	16.85 やや高め	15.57 高め
外房	17.92 平年並	16.69 平年並	16.35 平年並	13.66 平年並

*水温評価点 銚子・九十九里海域：C14～20 計7点，外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点

*沿岸水温評価の目安（σ：標準偏差）

きわめて高め	2.0 σ～
高め	1.3 σ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ～1.3 σ
平年並	0.0 σ～0.6 σ, -0.6 σ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ～

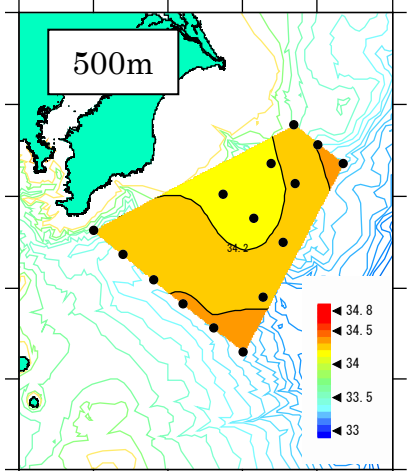
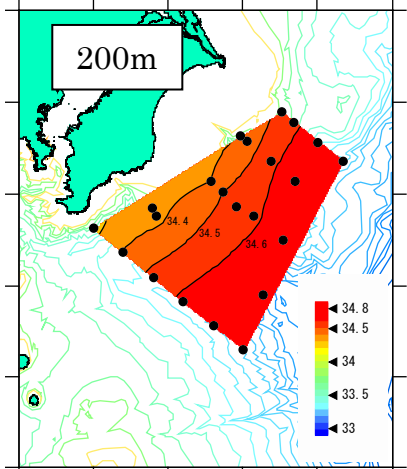
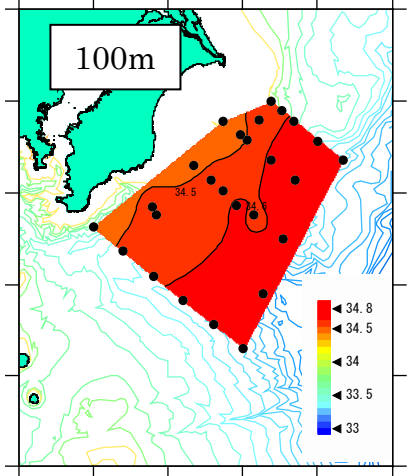
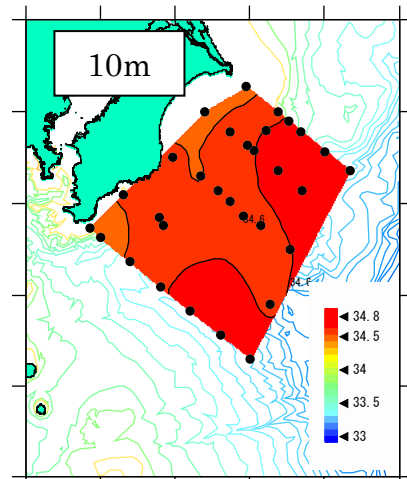
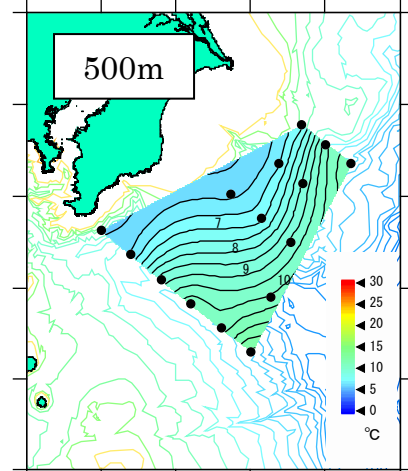
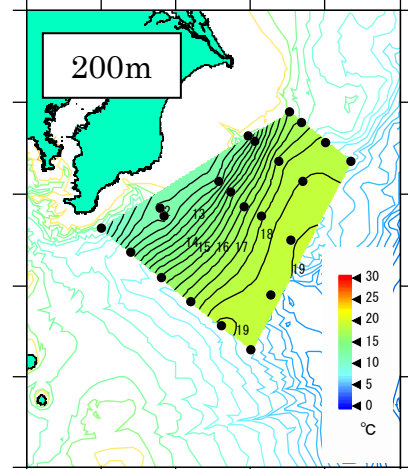
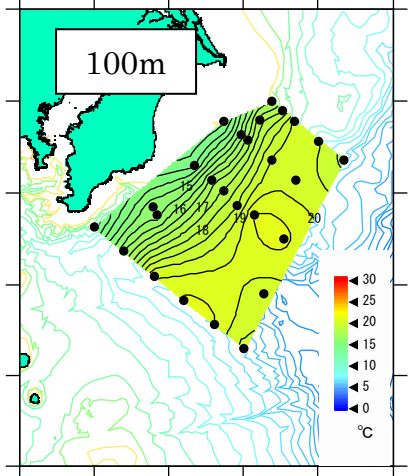
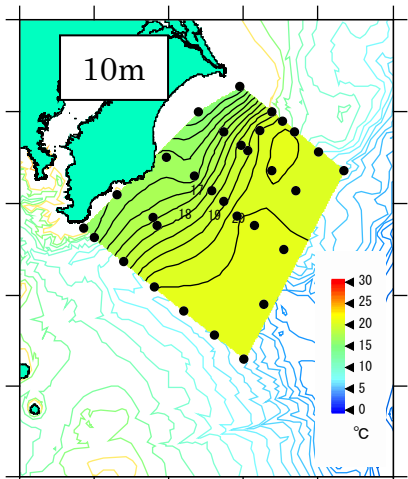


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

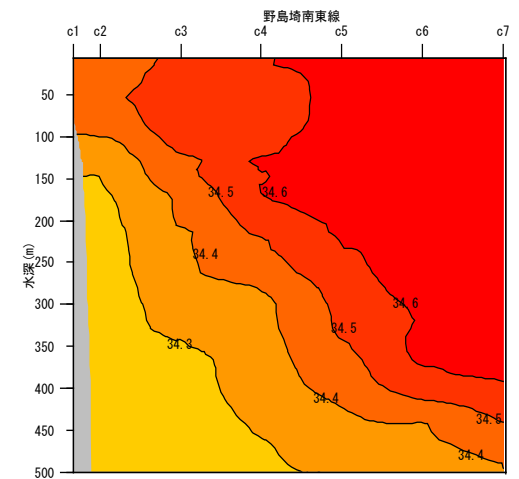
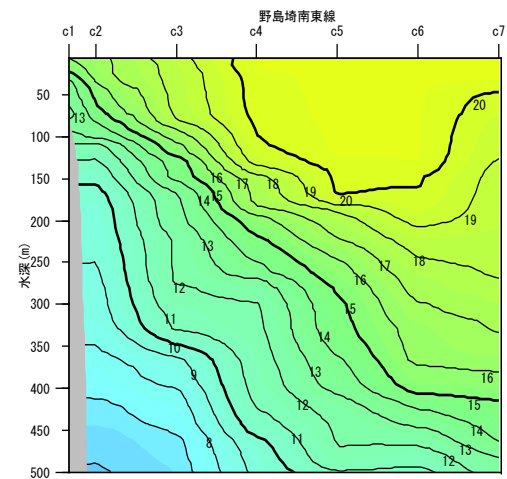
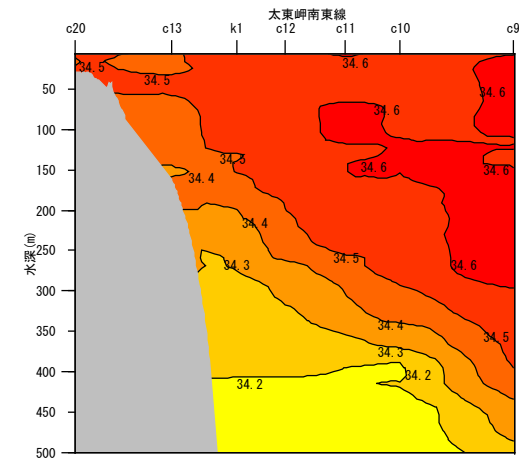
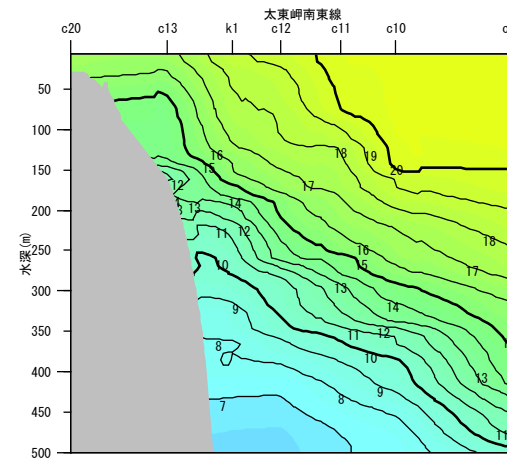
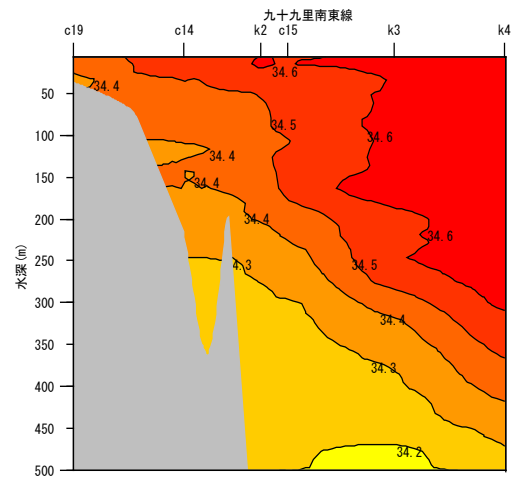
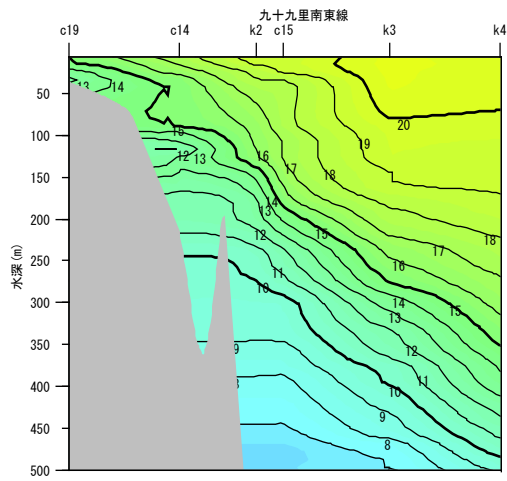
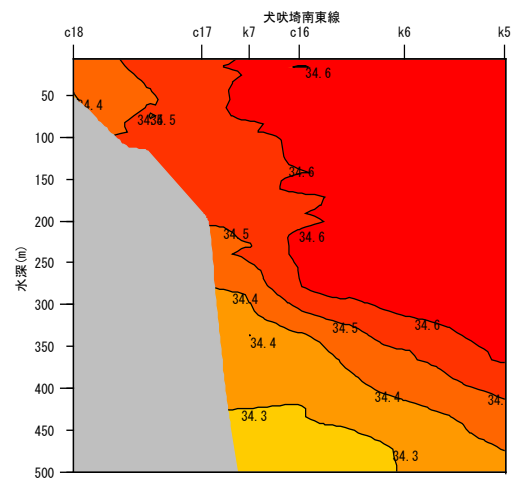
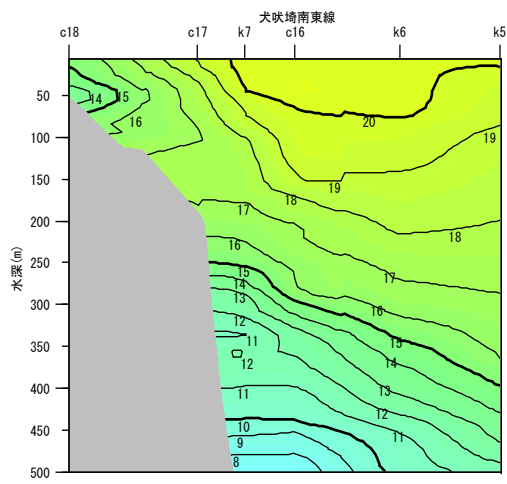
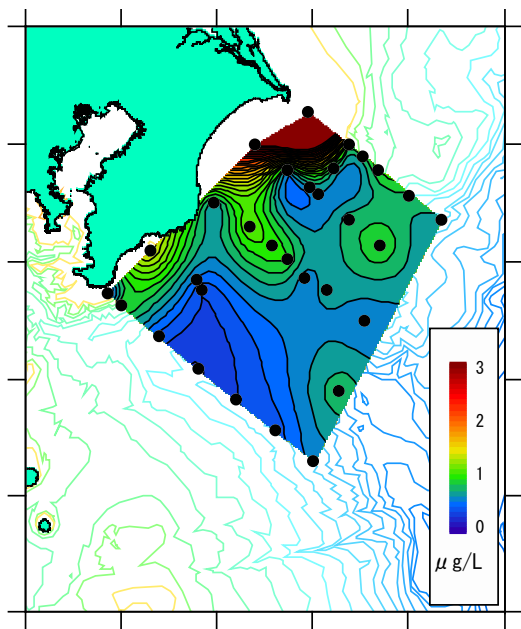


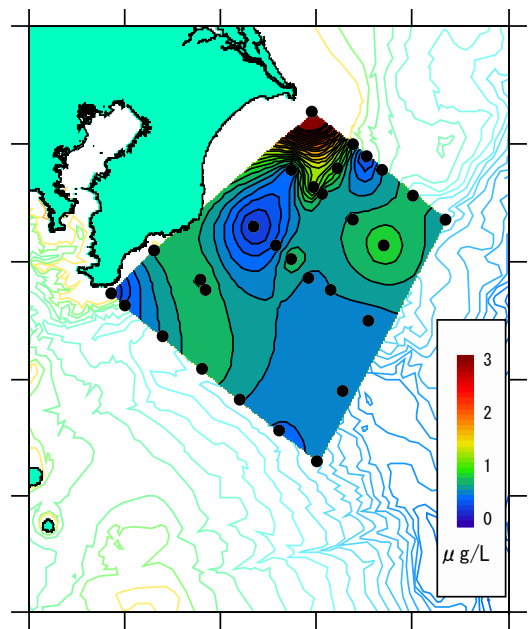
図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東埼，野島埼南東線（図1参照）

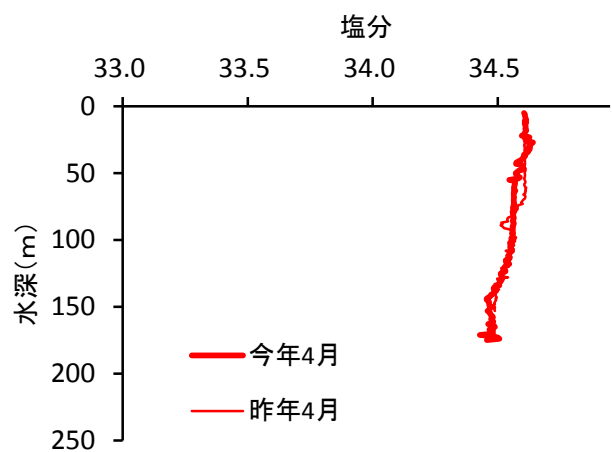
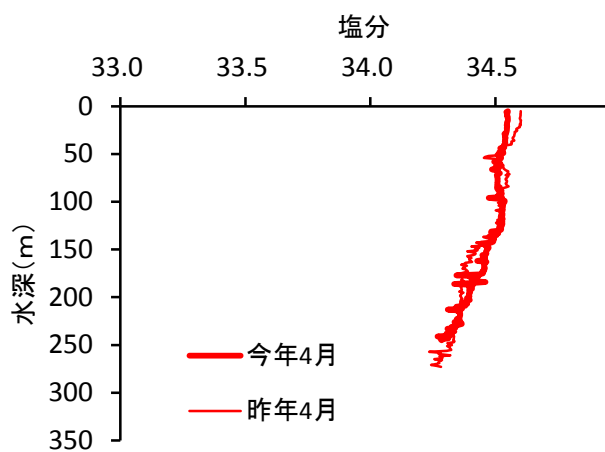
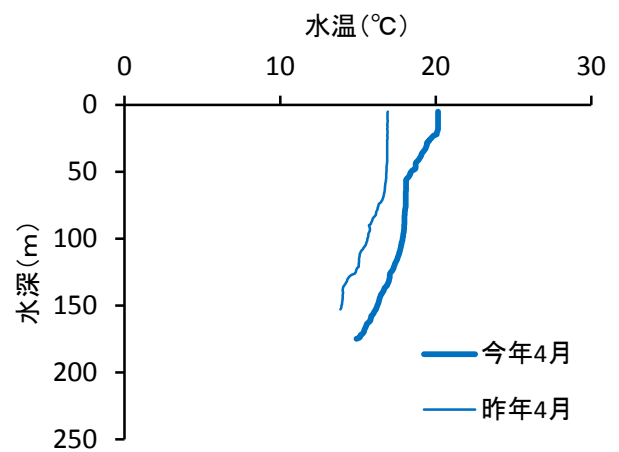
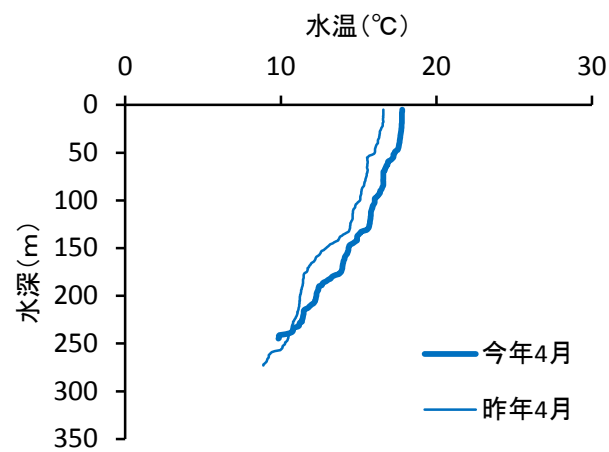


10m



50m

図7 水深別のクロロフィル分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温, 塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)